



帰宅する方法を考えよう

大きな地震のときは、電車やバスがとまってしまいます。それで、みんな、急いで自分の家に歩いて帰ろうとします。

駅の周りも、道路も、家に歩いて帰る人たちでいっぱいになります。

そんなときは、急いで帰宅しようとしなくて、まず、家族や自宅が大丈夫かどうか、確かめましょう。

家に帰るのが難しい人たちを「帰宅困難者」と言いますが、帰宅困難者のために「一時滞在施設」があります。

学校や公的施設が「一時滞在施設」になることが多いです。外出しているときに被災したら、まず、近くの安全な場所にしばらくいるようにしましょう。

無理に家に帰らないことも大切です。また、「帰宅支援ステーション」という場所もあります。

上手に色々なサポートを受けながら、落ち着いて行動しましょう。

【いまやろう！】

1. 歩いて帰宅するルートと距離を確認しましょう。
2. 休日などに、一度そのルートを歩いてみましょう。
3. 「一時滞在施設」をさがしてみましょう。
4. 「帰宅支援ステーション」をさがしてみましょう。